

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-515977(P2009-515977A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-541285(P2008-541285)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/53 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 Q

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月16日(2009.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療的有効量のScutellaria barbataの水溶性抽出物および薬剤的に許容可能な賦形剤を含む、医薬組成物。

【請求項2】

Scutellaria barbataの抽出物が、少なくとも一つの癌細胞株のin vitroでの活性を低下させる、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

抽出物により阻害される癌細胞株が、SKBR3細胞、MCF7細胞、MDA-MB231細胞、BT474細胞、またはMCNeuA細胞(乳癌細胞)、A549細胞、LLC細胞(肺癌細胞)、Panc1細胞、Panc02細胞(膵臓癌細胞)、PC-3細胞、LNCaP細胞(前立腺癌細胞)、OVCAR細胞、およびSKOV3細胞(卵巣癌細胞)から選択される、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

Scutellaria

barbataの抽出物が、少なくとも一つの癌細胞株中でアポトーシスを誘導する、請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項5】

抽出物によりアポトーシスが誘導される癌細胞株は、SKBR3細胞、MCF7細胞、MDA-MB231細胞、BT474細胞、MCNeuA細胞(乳癌細胞)、A549細胞、LLC細胞(肺癌細胞)、Panc1細胞、Panc02細胞(膵臓癌細胞)、PC-3細胞、LNCaP細胞(前立腺癌細胞)、OVCAR細胞、およびSKOV3細胞(卵巣癌細胞)から選択される、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

Scutellaria barbataの抽出物が、in vitroでG1期における細胞増殖停止を誘導する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項7】

G1期において細胞増殖が停止される癌細胞株が、SKBR3細胞、MCF7細胞、MDA-MB231細胞

、BT474細胞、またはMCNeuA細胞（乳癌細胞）、A549細胞、LLC細胞（肺癌細胞）、Panc1細胞、Panc02細胞（膵臓癌細胞）、PC-3細胞、LNCaP細胞（前立腺癌細胞）、OVCAR細胞、およびSKOV3細胞（卵巣癌細胞）からなる群から選択される、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項8】

Scutellaria barbataの抽出物を含む、癌を治療するための医薬組成物。

【請求項9】

抽出物がScutellaria barbata D. Donから調製される、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項10】

癌が固形癌である、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項11】

固形癌が上皮細胞癌である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

上皮細胞癌が乳癌または卵巣癌である、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項13】

前記治療が、癌の増殖速度を低下させる、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項14】

前記治療が、癌のサイズを低下させる、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項15】

前記治療が、癌の寛解を誘導する、請求項8または9に記載の医薬組成物。

【請求項16】

医薬組成物が経口組成物である、請求項8または9に記載の医薬組成物。